

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2018年15週（4月2週 4/9～4/15）

2018年3月報

愛知県感染症情報センター（愛知県衛生研究所内）

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619（企画情報部）

今週の内容

◇トピックス

インフルエンザ、流行性角結膜炎、麻しん、感染症法施行令の一部改正、ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防、犬におけるエキノコックス症の発生に伴う注意喚起

◇病原体検出情報

◇定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、ヒトメタニューモウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌感染症、RSウイルス感染症、水痘等

◇全数把握感染症発生状況（ ）内は件数。

結核(21)、E型肝炎(2)、レジオネラ症(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(2)、梅毒(12)、百日咳(3)、麻しん(1)

◇2018年3月報

◇定点把握感染症報告数（保健所別、年齢別）

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆インフルエンザ（図1）【4月5日警報解除】

15週の定点当たり報告数は1.19、14週340人→15週233人です。2017/2018シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH1pdm09、AH3)及びB型（山形系統、ビクトリア系統）インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】

愛知県域の「インフルエンザ警報」を解除しました(4月5日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/29influkaijyo.html>

2017/18シーズンインフルエンザウイルス分離・検出情報

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri17_18.html

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

◆流行性角結膜炎（図2）

15週の定点当たり報告数は0.37、14週15人→15週13人(0.87倍)です。

◆麻しん（4月18日現在）

今般、海外からの輸入症例を契機として、沖縄県で麻しん患者数の増加が報告されており、今後、広範な地域において麻しん患者が発生する可能性があります。

愛知県の2018年麻しんの報告数は2件、2017年は1件報告がありました。全国の2018年14週までの累積報告数は42件です（2017年総報告数は189件）。

【参考ページ】麻しん発生報告数の増加に伴う注意喚起について（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/dl/180412_2.pdf

本県における麻しん・風しん患者発生報告状況（2018） http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2018.html

麻しん・風しん患者調査事業を実施しています <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>

名古屋市:麻しん(はしか)患者の発生について(4月12日発表) <http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000105031.html>

◆感染症法（「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」）施行令の一部改正について

平成30年5月1日から急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）が五類感染症に追加されます。

【参考ページ】平成30年4月10日付け健感発0410第1号(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000203420.pdf>

◆ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防について

【参考ページ】ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

◆犬におけるエキノコックス症の発生に伴う注意喚起について

【参考ページ】犬におけるエキノコックス症の発生に伴う注意喚起について

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000071035.html>

エキノコックス調査－検査結果月報（顕微鏡検査） <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/5f/Echinococcus1.html>

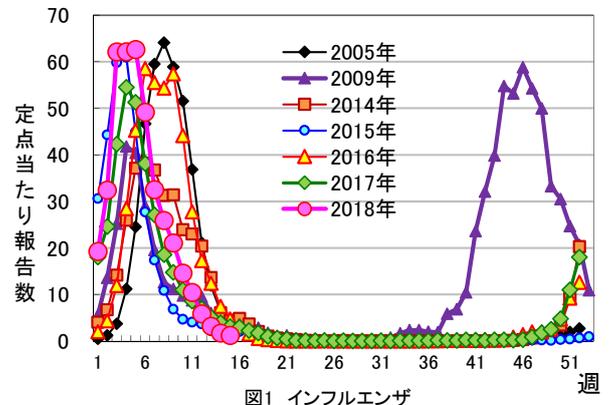


図1 インフルエンザ

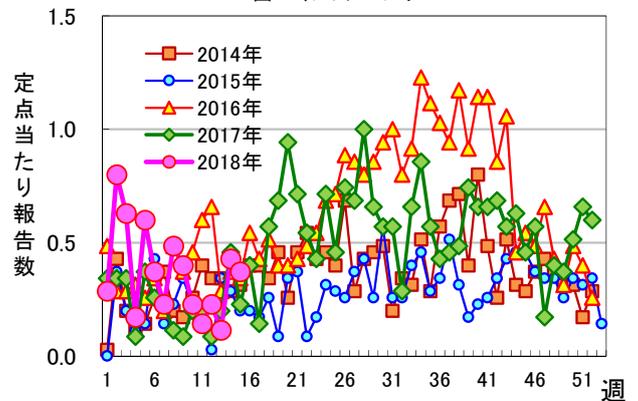


図2 流行性角結膜炎

病原体検出情報 —2017年疾患別ウイルス検出速報— (2018年4月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ		**麻しん・風しん
								2017/2018 シーズン	2016/2017 シーズン	
患者数	257	137	28	21	1	28	18	536	606	11(10)
CV-A2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
CV-A5	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
CV-A6	1	58	9	-	-	1	-	-	-	-
CV-A10	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-
CV-A16	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	10	1	-	-	1	-	-	-	-
CV-B1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CV-B2	3	1	-	-	-	3	1	-	-	-
CV-B3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CV-B5	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
E-3	3	1	1	-	-	2	-	1	-	-
E-6	3	2	1	-	-	1	1	3	2	1(0)
E-7	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
E-9	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
HRV	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
HPeV-1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	73	14	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	153	423	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	16	40	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	217	26	-
RSV	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
HPIV-2	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-
HMPV	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1#)
Rota A G1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	22	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Rota A G8	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	61	1	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	5	1	-	3	-	-	-	-	1	-
Ad-2	12	1	-	4	-	-	-	-	1	-
Ad-3	3	1	-	8	-	-	-	-	1	-
Ad-5	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
Ad-6	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Ad-31	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Ad-NT##	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
HSV-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
検査中	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0(0)
陰性	94	37	7	3	1	15	14	48	94	10(8)

*インフルエンザは2017/2018シーズン(2017年9月～)及び2016/2017シーズンの結果

**麻しん・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲 #ワクチン株1名 ##NT:未型別

略:ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、EV: エンテロウイルス、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、HMPV: ヒトメタニューモウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、HPIV: ヒトパラインフルエンザウイルス、HRV: ヒトライノウイルス、HSV: 単純ヘルペスウイルス、MeV: 麻しんウイルス、NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、RSV: RSウイルス、SV: サボウイルス

病原体検出情報 —2018年疾患別ウイルス検出速報— (2018年4月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻しん・風しん
								2017/2018 シーズン	
患者数	85	6	0	3	2	2	3	536	1(4)
CV-A10	-	1	-	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	2	-	-	-	-	-	-	-
CV-B2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
E-3	-	-	-	-	-	-	-	1	-
E-6	-	-	-	-	-	-	-	3	1(0)
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	73	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	153	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	16	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	217	1(0)
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	0(2)
Rota A G1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	8	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	2	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	38	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	3	-	-	1	-	-	-	-	1(0)
Ad-3	-	-	-	1	1	-	-	-	-
Ad-5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	-	-	-	-	1	-	-	-	-
検査中	19	3	0	1	0	2	2	27	0(1)
陰性	12	0	0	0	0	0	1	48	0(1)

*インフルエンザは2017/2018シーズン(2017年9月～)の結果

**麻しん・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、EV: エンテロウイルス、

FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、

FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、MeV: 麻しんウイルス、

NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA

定点医療機関コメント（名古屋市除く）**尾張西部地区**

- 1歳 ヒトメタニューモ(+)気管支炎
7歳 カンピロバクター腸炎
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- ヒトメタニューモウイルス感染症 2歳女
【一宮市 後藤小児科医院】
- インフルエンザみられなくなりました。
感染性胃腸炎やや目立ちます。
(一部ロタ陽性です。)
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- インフルはありません。
ロタ感染症で2人入院しました。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 先週は0でしたが今週はA型インフルが数件
ありました。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- 溶連菌、水痘 散発でした。
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザA型 2名
インフルエンザB型 0名
【津島市 医療法人 参育会加藤医院】
- インフルエンザA型 4名
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

- インフルエンザB型 1名
その他目立った感染症はありません。
【日進市 みやがわクリニック】
- 今週も溶連菌感染症が目立ちました。
カンピロバクター腸炎 8歳男
インフルエンザがなくなりました。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- ヒトメタニューモ 1名
【尾張旭市 旭労災病院】
- インフルエンザ陽性報告 2名(小児1名、成人
1名、A型1名、B型1名) fluあとわずかです
が残っています(B型)。
RSV、ノロ、ロタはずっと同じくらいおります。
【春日井市 春日井市民病院】
- 溶連菌少々
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- 年齢の高いロタウイルス感染がみられます。
インフルエンザはすべてA型です。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- インフルエンザA型 3名
インフルエンザB型 1名
【東海市 もしもしこどもクリニック】
- インフルエンザA型 3名 B型 0名
【東海市 こいで内科医院】
- インフルエンザA型 3名
インフルエンザB型 1名
【半田市 林医科歯科医院】
- インフルエンザA型 1名
感染性胃腸炎 4名
【南知多町 医療法人大岩医院】
- ヒトメタニューモ 2歳男
【常滑市 常滑市民病院】
- ヒトメタニューモ 3歳男
ロタウイルス 1歳女
感染性胃腸炎が増えてきました。
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- RSウイルス感染症 1名(4Mo)
ロタウイルス感染症 1名(2歳)
病原性大腸菌(O1)陽性 1名(6歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】
- インフルエンザA型 3名 B型 0名
【東海市 公立西知多総合病院】

西三河地区

- StrepA(+) 5名
E. coli(O74)+カンピロ 1名(9歳男)
カンピロ 1名(11か月男)
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- hMPV(+) 3名(1歳男 2名、3歳男)
【豊田市 田中小児科医院】
- インフル陽性 A型 2名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルエンザ 1名 (B型)
【岡崎市 栗屋医院】
- 某保育園で水痘集団発生あり
当院へは4/2 双胎姉妹(3歳)2人
4/4 2歳児、3歳児受診。いずれもワクチン2回
接種済み。全員極めて軽症(抗体検査も実施せず)
【岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院】
- ヒトメタニューモ 4歳女
目立った流行はありません。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- 病原性大腸菌O1 10歳女
マイコプラズマ感染 10歳女 10歳男
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- 感染性胃腸炎が目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】
- インフルエンザA型 5名 B型 1名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
- インフルエンザA型 3名
【刈谷市 田和小児科医院】
- インフルエンザA型 5名 B型 0名
【西尾市 西尾市民病院】
- 55歳 カンピロバクター腸炎
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

- ヒトメタニューモウイルス感染症が流行中です。
0歳から感染しています。
1歳で熱性けいれんをおこした子もいます。
RSウイルス感染症の子も時にいます。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- A群溶連菌感染が少し増えてきました。
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
- インフルエンザA型 1名
【豊橋市 医療法人杉浦内科】
- インフルエンザA型 1名
【豊橋市 おだかの医院】
- インフルエンザA型 1名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- インフルエンザA型 5名
【豊川市 豊川市民病院】
- ヒトメタニューモウイルス 3名
インフルエンザB 1名
病原性大腸菌O18 1名
マイコプラズマ 1名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2018年4月18日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun180101.pdf

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2018年15週報告数			2018年総計(1～15週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	8	2	1	140	38	36
豊田市	2		1	24	4	6
豊橋市	1		1	29	2	20
岡崎市	1			16	2	6
一宮	2	1	1	30	8	11
瀬戸				21	4	9
半田	1		1	20	4	11
春日井	1			29	4	11
豊川	1	1		8	4	3
津島				28	3	2
西尾	1		1	7		1
江南				7		
新城				1		1
知多	2	1	1	13	7	1
清須				5		4
衣浦東部	1	1		15	4	5
合計	21	6	7	393	84	127

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● E型肝炎（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	名古屋市	52歳	男	不明
2	瀬戸	52歳	男	不明

● レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	92歳	女	肺炎型	国内

● カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	70歳	男	不明	国内	無

● 劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	名古屋市	64歳	女	国内
2	春日井	54歳	男	国内

● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	瀬戸	69歳	男	AIDS	不明	不明

● 侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	豊川	79歳	女	不明	国内

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	3歳	女	有	国内
2	瀬戸	62歳	女	無	国内

● 梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	38歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	29歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	35歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	豊田市	26歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	豊田市	45歳	男	無症候	性的接触	国内
6	一宮	44歳	女	早期顕症	性的接触	国内
7	瀬戸	29歳	女	早期顕症	不明	不明
8	瀬戸	36歳	女	早期顕症	性的接触	国内
9	春日井	70歳	男	早期顕症	その他	国内
10	江南	50歳	男	早期顕症	性的接触	国内
11	江南	35歳	男	無症候	性的接触	国内
12	知多	38歳	男	早期顕症	性的接触	国内

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	70歳	女	不明	国内
2	豊田市	13歳	男	有（追加接種有）	流行有（学校）
3	一宮	45歳	女	不明	家族内感染

● 麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	瀬戸	13歳	男	無	国内

3月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2017～2018年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2018年3月			2018年	2017年	
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>	
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	
二類 (7)	結核	58 (16)	28 (9)	86 (25)	337 (108)	1,533 (432)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	13 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	2 (2)	0 (0)	2 (2)	4 (2)	178 (42)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	2	6
	A型肝炎	0	0	0	0	17
	エキノкокクス症	0	0	0	0	1
	オウム病	0	0	0	0	3
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
	チクングニア熱	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	1	1	1	4
	デング熱	2	0	2	3	23
	ブルセラ症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	4	2	6	13	102
五類 (23)	アメーバ赤痢	3	4	7	15	57
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	10
	内訳 B型	0	0	0	0	9
	内訳 その他	0	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	4	4	8	34	117
	急性脳炎	2	0	2	13	43
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	1	5	12	37
	後天性免疫不全症候群	1	7	8	24	72
	内訳 無症候性キャリア	1	5	6	16	40
	内訳 AIDS	0	2	2	8	29
	内訳 その他	0	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	3	7	35
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0	1	1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	4	11	62	208
	水痘(入院例に限る。)	2	0	2	5	20
	梅毒	15	18	33	89	344
	内訳 無症候	1	7	8	22	108
	内訳 早期顕症	13	11	24	64	225
	内訳 晩期顕症	1	0	1	3	10
	内訳 先天梅毒	0	0	0	0	1
	播種性クリプトкокクス症	1	0	1	3	12
	破傷風	0	0	0	1	11
	百日咳*	9	2	11	38	-
	風しん	0	0	0	0	3
	麻しん	1	0	1	1	1
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	1
	総計	117	73	190	667	2,872

* 2018年1月1日に「百日咳」が五類感染症(全数把握)に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2018年3月			2018年 累計		2017年 総計	
			愛知県	名古屋市	愛知県	愛知県全体		愛知県全体	
			<名古屋市除く>		全体	合計	合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	19	40	59	196	341	909	1,586
		女	31	19	50	145		677	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	10	9	19	53	134	223	536
		女	13	13	26	81		313	
	尖圭コンジローマ	男	2	12	14	49	75	211	307
		女	4	6	10	26		96	
淋菌感染症	男	15	23	38	117	137	462	528	
	女	9	2	11	20		66		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		92	1	93	267		1,001	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		8	1	9	32		154	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		1	0	1	2		3	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2018年3月			2018年 累計		2017年 総計	
	愛知県	名古屋市	愛知県	愛知県全体		愛知県全体	
	<名古屋市除く>			全体		全体	
エキノコックス症の犬	3	0	3	3		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年1月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2018年1月1日に「百日咳」は定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。

